

評価学分野

学習資料

関節可動域測定（ROM）の国試頻出基本則

基本軸と移動軸の識別

国試では関節可動域における**基本軸**と**移動軸**の不一致を突く肢位が毎年出題されます

角度の読み取りは、原則として**5度**刻みで正確に算出します。

ROM 頻出ベスト 20

部位と運動方向	基本軸	移動軸
股関節屈曲・伸展		
手関節掌屈・背屈		
手関節撓側外転		
肩関節回旋		
手関節撓屈尺屈		
足関節底屈背屈		
肩甲帯挙上		
肩関節外転・内転		
足関節内転・外転		
体幹屈曲・伸展		

ROM 頻出ベスト 20

部位と運動方向	基本軸	移動軸
体幹側屈		
肩屈曲・伸展		
肩水平内転		
膝屈曲・伸展		
手指内転・外転		
手指屈曲・伸展		
頸部側屈		
肘屈曲・伸展		
前腕回外・回内		
股内旋・外旋		

徒手筋力テスト（MMT）の国試頻出基本則

検査肢位と抵抗位置の識別

国試では徒手筋力テストにおける**検査肢位**と**抵抗部位**の不一致を突く肢位が毎年出題されます

代償動作時の代償筋について問う問題も出題されますが、運動方向を考えれば正解は導き出せます。

段階	判定	Daniels判定の定義
5	Normal	検者による最大抵抗に抗して、テスト可動域全体を完全に動かせる。
4	Good	中等度～強度の抵抗に抗して、テスト可動域全体を完全に動かせる。
3	Fair	外部抵抗なしで、重力のみに抗してテスト可動域全体を完全に動かせる。
2	Poor	重力の影響を排除した（摩擦抵抗のない）平面上でなら、可動域全体を動かせる。
1	Trace	筋の収縮（または腱の緊張）は視診・触診可能だが、関節運動は起こらない。

MMT 頻出ベスト20

筋／運動方向	段階0-5 肢位・抵抗位置
菱形筋	
肘伸展	
肩外転	
肘屈曲	
肩屈曲	
肩外旋	
肩伸展	
肩内旋	
手背屈	
僧帽筋中部	

MMT 頻出ベスト20

筋／運動方向	段階0-5 肢位・抵抗位置
僧帽筋下部	
体幹屈曲	
股伸展	
股屈曲	
僧帽筋上部	
肩水平外転	
肩水平内転	
前鋸筋	
縫工筋	
股内転	

疼痛の多角的な客観・主観的評価

主観的痛みの定量的スケール

- > **VAS (Visual Analogue Scale):** 100mmの基準線を用いて「痛みなし(0)」から「想像しうる最悪の痛み(100)」の絶対位置をミリ単位で計測。
- > **NRS (Numerical Rating Scale):** 0から10までの11段階で、患者自身の痛みのレベルを口頭で聴取。
- > **フェイススケール:** 表情カードを用い、高齢者や小児、認知低下者に有用。

リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン

① 積極的なリハビリテーションを実施しない場合

項目	基準
脈拍	()回/分を超えた場合
運動時収縮期血圧	()mmHg以上上昇
運動時拡張期血圧	()mmHg以上上昇
頻呼吸	()回/分以上
出現する症状	呼吸困難・めまい・()・狭心痛・頭痛・強い疲労感
その他	運動による()の増加
	()の出現
	意識状態の()

② 途中でリハビリテーションを中止する場合

項目	基準
安静時脈拍	()回/分以下、または()回/分以上
安静時収縮期血圧	()mmHg以下、または()mmHg以上
安静時拡張期血圧	()mmHg以上
安静時酸素飽和度(SpO ₂)	()%以下
安静時体温	()℃以上
リハビリ前からある症状	動悸・()・胸痛
座位でみられる症状	めまい・()・嘔気

腱反射・病的反射

項目	検査方法
上腕二頭筋反射	肘()位で上腕二頭筋腱に母指を当てその上を叩打。(反射中枢:)
上腕三頭筋反射	肘()位で上腕三頭筋腱を叩打。(反射中枢:)
膝蓋腱反射	下腿を()し膝蓋腱を叩打。(反射中枢:)
アキレス腱反射	軽度()位でアキレス腱を叩打。(反射中枢:)
Babinski反射	足底()側を踵→小趾球→()方向へ刺激。陽性は()
Hoffmann反射	()末節を弾き、()の屈曲を確認

形態測定

項目	測定部位
上肢長	
上腕長	
前腕長	
肘子果長	
棘果長(下肢長)	
大腿長	
下腿長	
上腕周径	
前腕周径	
大腿周径	
下腿周径	

バランス能力の評価指標

BBS

ベルグバランス尺度。**56**点満点で評価する。

TUG

Time Up & Go Test。**13.5**秒以上で転倒リスク増。

10m歩行

歩行速度を評価。**1.0**m/秒が屋外歩行自立の目安。